

【事例 1 1】

氷製造業の氷運搬作業等において、冷蔵庫内作業場の環境を改善し、庫内作業時の激突、転倒の危険、作業負担の軽減に配慮

作業内容の概要

一連の製氷作業のなかで、完成した氷の冷蔵庫内移動作業、氷のサイズに応じた切断作業、キューブアイスの包装・箱詰め作業、出荷作業、在庫管理作業

改善前の作業の状況・問題点

- (1) 冷蔵庫への入・出庫時、庫内移動作業時、在庫管理作業時などのフォークリフト運転時に、明暗の差による視力疲労や視認不足によって接触・衝突のおそれがあった。
- (2) 冷蔵庫の出入り口に氷塊が付着しており、とっさの反応が低下していると歩行中に転倒のおそれがあった。

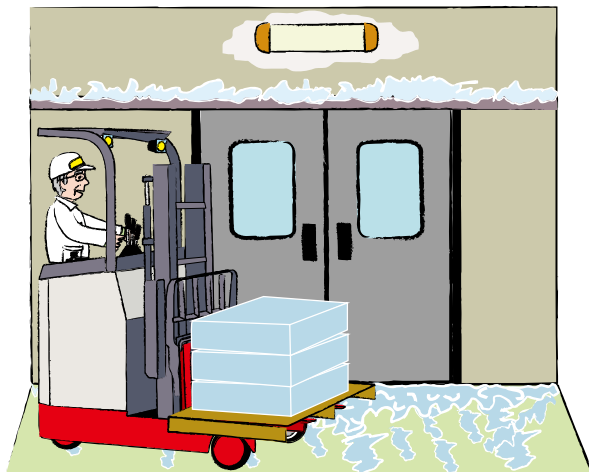
改善後の作業の状況

- (1) 照度測定を行い、照明器具を増設し、照度不足及び明暗差を解消した。
- (2) 冷蔵庫の出入り口に二重扉を設け、急激な温度変化を防ぐことにより、冷蔵庫内の氷塊付着が減少した。

改善のポイント・工夫点

冷蔵庫内の照明不足が解消され、冷蔵庫内床面に氷塊が散乱ても直ちに取り除くことができるようになり、転倒の危険が低減した。

改 善 前



フォークリフト運転時に、明暗の差による視力疲労や視認不足によって接触・衝突のおそれがあった。

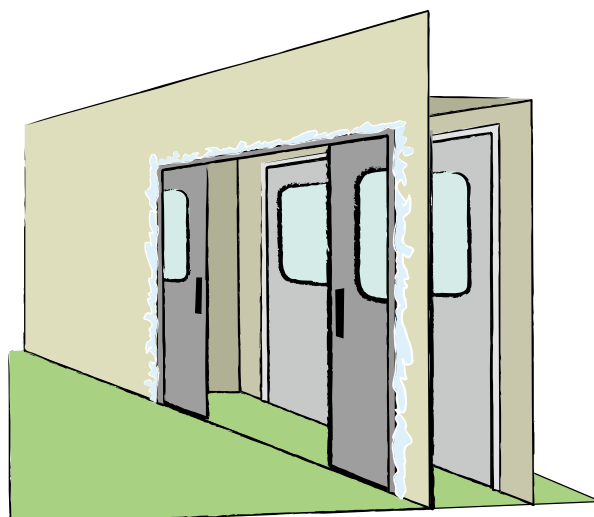
改 善 後



照度測定を行い、照明器具を増設し、照度不足及び明暗差を解消した。



冷蔵庫の出入り口に氷塊が付着しており、歩行中に転倒のおそれがあった。



冷蔵庫の出入り口に二重扉を設け、急激な温度変化を防ぐことにより、冷蔵庫内の氷塊付着が減少した。

【事例12】

食料品製造（魚類加工）業において、作業手順の見直し、作業床面の改善を行い、運搬時の落下、転倒等の危険の低減に配慮

作業内容の概要

鮭フレーク、焼イカを作る工場で、重量が約15kgある冷凍鮭フィレー、冷凍イカの塊をパレットから台車に移し、運搬する作業及びイカ加工機械の定期的な清掃作業

改善前の作業の状況・問題点

- (1) パレットに積んである冷凍鮭フィレーを2名で取り出し、台車への積み込み作業中に、フィレーの積荷の荷崩れや濡れた床による滑りで、鮭フィレーが足元に落ち、足指を打撲・骨折するおそれがあった。
- (2) イカ加工機、サキイカ機の清掃作業中に誤って起動ボタンに手が触れるなどしてローラが動き始めた場合、とっさの反応が低下しているとローラに手を巻き込まれるおそれがあった。
- (3) 作業場の床はこぼれた水や魚油、サラダ油のため滑りやすく、平衡機能が低下していると転倒するおそれがあった。

改善後の作業の状況

- (1) 冷凍鮭フィレー等の取出し作業の際は、荷の取り出しに伴う荷崩れを防止するため、事前に荷積み状態を良く確認することとした。また、作業に当たっては先芯の入った安全長靴を履き、滑り止めの付いた手袋を着用することとした。
- (2) ローラにはカバーを取付け、誤って起動ボタンに触れても、カバーを開けると機械が停止する安全装置を設けた。また、清掃作業は機械の通電を停止してから実施することの順守を再度徹底させた。
- (3) 床に魚油等の油をこぼした時は放置せず直ぐふき取ることとした。また、床は滑り止め施工するとともに耐滑性の長靴を履くようにした。

改善のポイント・工夫点

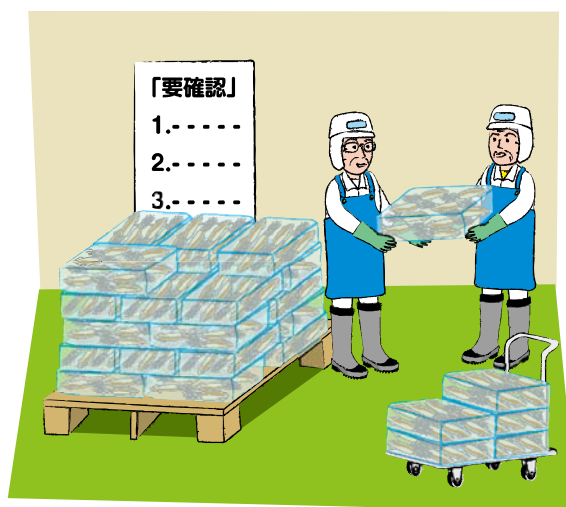
「要確認」や「注意書」の掲示等で作業者の事故防止の意識づけに努めた。

改善前



冷凍鮭フィレの積み込み作業中、荷崩れや濡れた床による滑りで、足指を打撲・骨折するおそれがあった。

改善後



先芯の入った安全長靴を履き、滑り止めの付いた手袋を着用することとした。



イカ加工機、サキイカ機の清掃作業中に誤って起動ボタンに手が触れるなどにより、ローラに手を巻き込まれるおそれがあった。



ローラにはカバーを取付け、誤って起動ボタンに触れても、カバーを開けると機械が停止する安全装置を設けた。